



平成27年12月25日

各 位

上場会社名 株式会社ウイズ
 代表者 代表取締役社長 横井昭裕
 (コード番号 7835)
 問合せ先責任者 取締役 管理部門担当 木村学
 (TEL 03-3534-3180)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月3日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	400	△160	△160	△166	△53.87
今回修正予想(B)	366	△191	△224	△225	△73.19
増減額(B-A)	△33	△31	△64	△59	
増減率(%)	△8.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年5月期第2四半期)	785	△90	△96	△97	△31.76

平成28年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,600	10	10	7	2.27
今回修正予想(B)	1,000	△50	△110	△112	△36.34
増減額(B-A)	△600	△60	△120	△119	
増減率(%)	△37.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年5月期)	1,740	△170	△173	△176	57.30

修正の理由

第2四半期の連結業績予想につきましては、たまごっちシリーズのマイナーチェンジ版「TAMAGOTCHI 4U +」は、堅調に販売推移しましたが、他のOEM製品及びオリジナル商品が予定を下回ったため、売上高及び営業利益が予想を下回ることとなりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、今期より持分法適用会社となったピップ&ウイズ株式会社の持分法による投資損失計上の影響もあり、予想を下回ることとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、売上総利益率の高い製品受注及び売れ筋のオリジナル商品の開発・販売に内部リソースを集中し、既の実施済みである役員報酬の減額のほか、過年度以上に固定費を絞り込む予定ですが、期初で予定しておりました大手玩具メーカー向けの新規OEM製品が幾つか受注できないこと、第4四半期会計期間において売上を予想しておりましたアニメ連動製品に関して、企画・開発は同メーカーと進めてはいるものの、本格的な収益寄与が次期以降となる状況となること等により、売上高、利益面ともに予想を下回ることとなりました。

以上